社会資本総合整備計画　　事後評価書

平成 ２８ 年　２ 月　２９日

計画の名称	1　戸田市における良好な生活環境の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	埼玉県戸田市

計画の目標

下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

・下水道処理人口普及率を８５％（H22）から９０％（H26)に増加させる。
・合流式下水道改善率を０％（H22）から１００％（H25)に達成させる。
・下水道による都市浸水対策達成率を５２％（H22）から５５％（H26)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）	備考
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	85%	87%	90%	
② 合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）/合流区域面積 405.0（ha）	0.0%	50%	100.0%	
③ 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積 747.39（ha）	52%	53%	55.0%	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	1,235百万円	Ａ	1,235百万円	Ｂ		Ｃ		効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	0.0%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
戸田市上下水道事業経営審議会条例により事後評価を実施します。	平成28年2月29日
	公表の方法：市のＨＰに掲載

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

Ａ　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
A1-1-1	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	南部第11-3処理分区汚水整備事業	φ300～φ200　L=6.4km	戸田市						320	
A1-1-2	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	下戸田ポンプ場合流改善事業	処理設備（高速ろ過）14,700m３/日	戸田市						193	
A1-1-3	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	新曽ポンプ場合流改善事業	処理設備（高速ろ過）13,000m３/日	戸田市						117	防災へ
A1-1-4	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	南部第21処理分区汚水整備事業	φ200　L=3.0km	戸田市						207	
A1-1-5	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	南部第22処理分区汚水整備事業	φ200　L=3.0km	戸田市						341	
A1-1-6	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	笹目第2排水区雨水幹線整備事業	□1900～□2500 L=0.3km	戸田市						234	防災へ
A1-1-7	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	新曽第10排水区雨水幹線整備事業	□1500～□1600 L=0.2km	戸田市						130	防災へ
													合計	1,542	

Ｂ　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
													合計		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
											合計				

番号		備考

その他関連する事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
A1-1-3	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	新曽ポンプ場合流改善事業	処理設備（高速ろ過）13,000m３/日	戸田市						196	防災・安全移行先
A1-1-6	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	笹目第2排水区雨水幹線整備事業	□1900～□2500 L=0.2km	戸田市						181	防災・安全移行先
A1-1-7	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	新曽第10排水区雨水幹線整備事業	□1500～□1600 L=0.2km	戸田市						137	防災・安全移行先

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・下水道処理人口が８５％から８８％に増加し、生活環境の向上を図ることができた。
・合流改善事業に伴い、汚濁負荷量が削減され、公衆衛生の向上及び河川等の水質保全に資することができた。
・雨水幹線整備に伴い、従来の浸水箇所を改善することができた。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①下水道処理人口普及率	最終目標値	90.00%	目標値と実績値に差が出た要因	区画整理等のまちづくりの進捗が遅れたため、当初予定していた下水道区域の一部が整備できなかったため。
	最終実績値	88.00%		
指標②合流式下水道改善率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	新曽ポンプ場合流改善事業を、平成25年度より社会資本総合整備計画（防災・安全）に移行したため。 （参考値）移行した防災・安全交付金事業を加味した最終実績値　100.0%
	最終実績値	44.17%		
指標③下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	55.00%	目標値と実績値に差が出た要因	笹目第2排水区雨水幹線整備事業、新曽第10排水区雨水幹線整備事業を、平成25年度より社会資本総合整備計画（防災・安全）に移行したため。また、雨水整備済み地域において、住民からの要望等により浸水被害が発生している箇所に市単独費で浸透桝及び小学校に雨水浸透施設の設置をしたため、目標値は未達成となった。 （参考値）移行した防災・安全交付金事業を加味した最終実績値　53.73%
	最終実績値	52.84%		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

区画整理等のまちづくり事業が当初の予定通りに進捗していれば、計画策定時の予測通りに下水道処理人口普及率も達成できたと考えられる

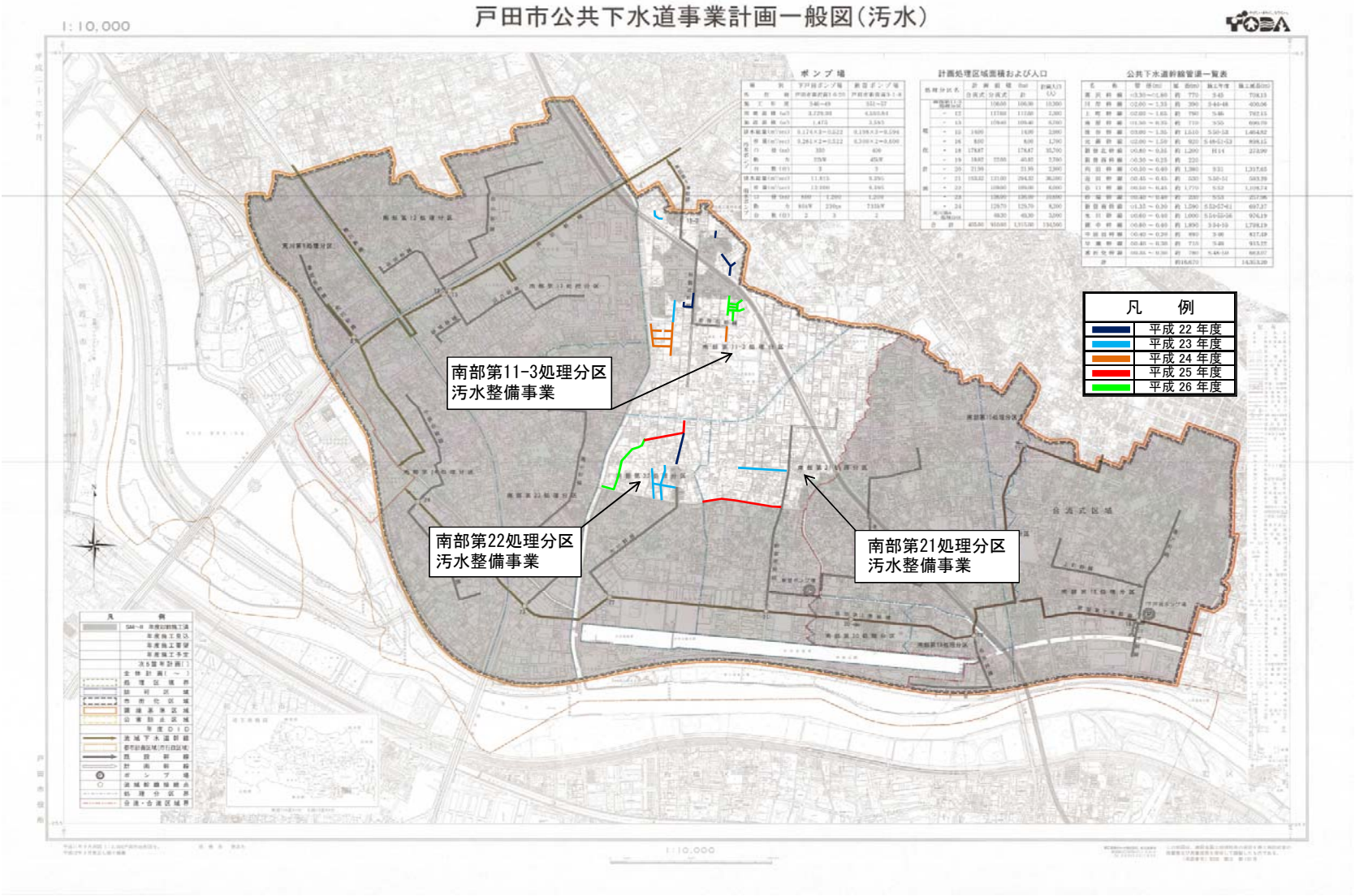
３．特記事項（今後の方針等）

公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（H27年度からH31年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。
また、平成27年度以降、ポンプ場が老朽化していることから、次期計画においてはポンプ場長寿命化対策事業を行っていく。
なお、今回の整備で未達成箇所は、今後の整備計画で将来的に整備を行っていく。

（参考図面）

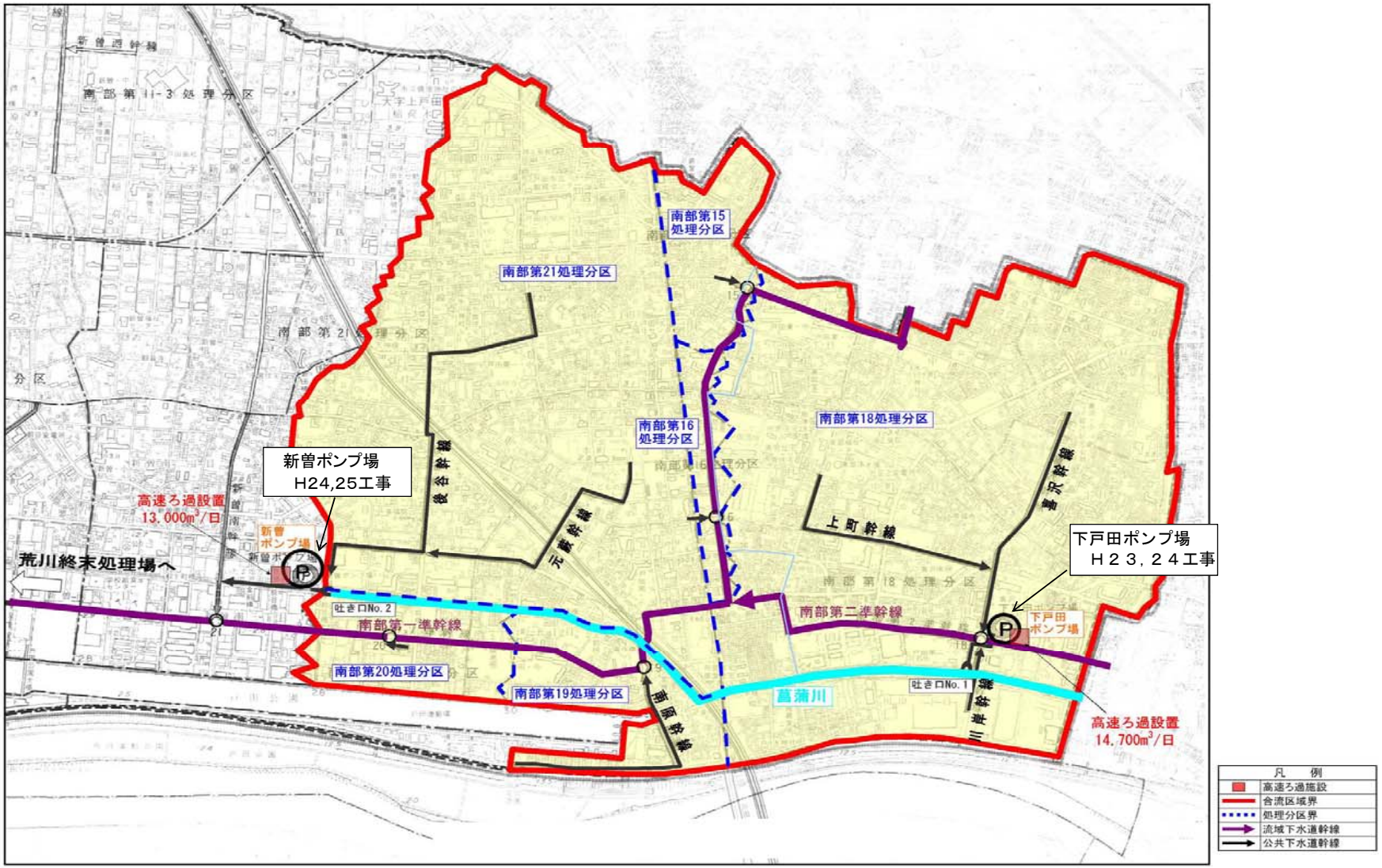
計画の名称	戸田市における良好な生活環境の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度	交付対象	戸田市

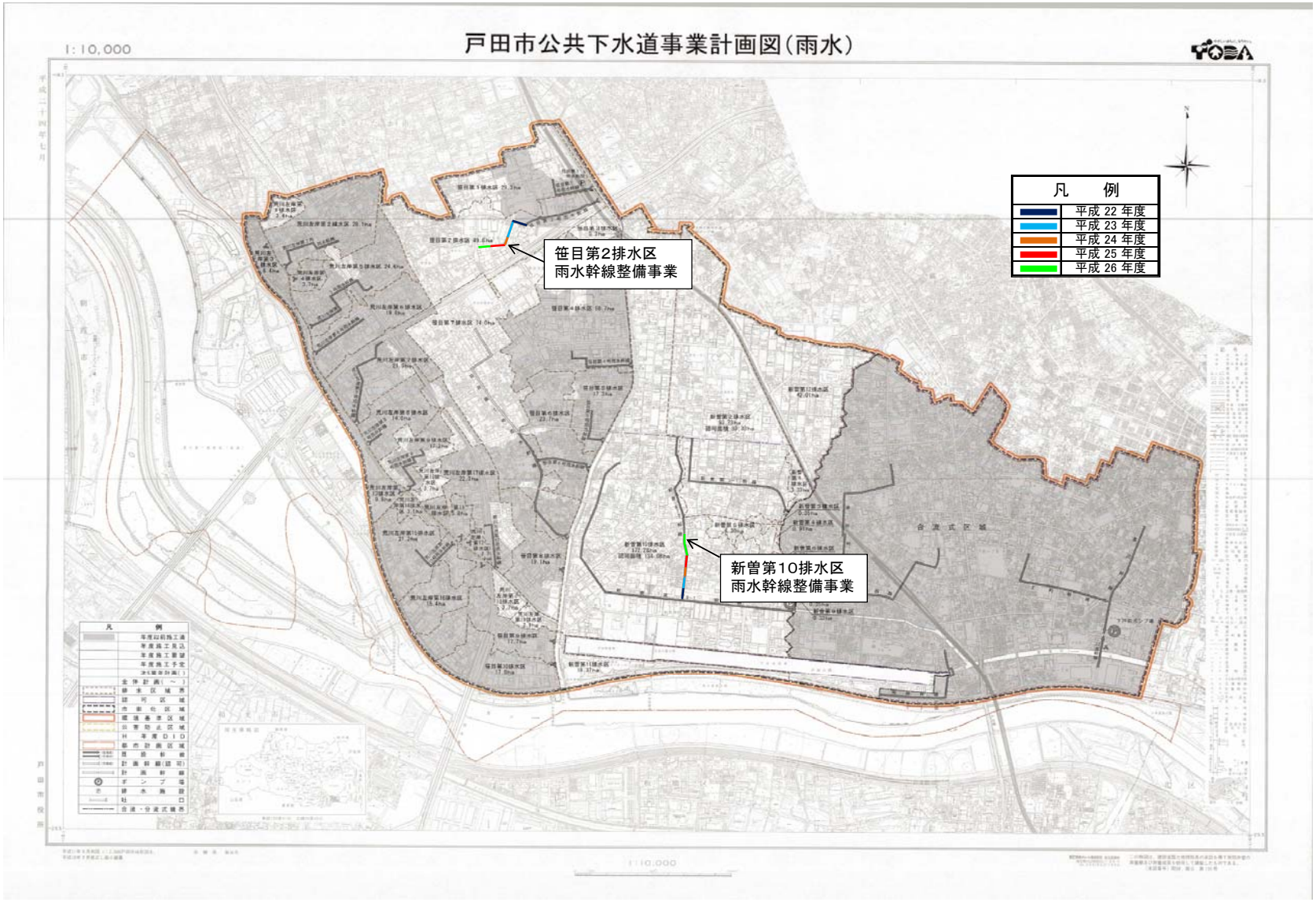
荒川左岸南部第11-3～22
処理分区計画図



（参考図面）

計画の名称	戸田市における良好な生活環境の整備		
計画の期間	平成22年度　～　平成25年度	交付対象	戸田市



（参考図面）

計画の名称	戸田市における良好な生活環境の整備		
計画の期間	平成２２年度～平成26年度	交付対象	戸田市